

平成 29 年度 学校経営計画書

1 校訓 「進取・協同」

2 教育目標 進取の気性を持ち、自主的・自律的に行動していく態度を養う

学園の一員として連帯し、互いの立場を考え協力して助け合う態度を養う

学業に励み、高い知性と豊かな情操を身につけ、健全な心身を養う

日本ならびに世界の文化と伝統への理解を深め、国際感覚と国際協調の精神を養う

3 校風 「城東の自由」を追求し、「集中と切替」を実践する生徒が集う生命もえたつ学園

4 ミッション 校訓「進取・協同」を実践する城東スピリットを備えた人材を育成する。

5 ミッション追求のための柱となる施策

- (1) グローバル社会や地域コミュニティ等において、リーダーとして必要な資質・能力を育てる教育活動を実践する。
- (2) 知的好奇心を育てる「学びのシステム」により、生徒一人ひとりの多彩な才能が開花する教育を行う。
- (3) 城東の教育を広く発信し、城東の追求する教育の理解者、支援者、実践者を増やす。

【自主・自律の4原則】

- ① 自由であることを意識しよう→自由であることは責任ある行動を要求されている。
- ② 信頼関係づくりに努めよう →信頼関係の確立が自由な校則維持のために最も必要なものである。
- ③ 自立した社会人と自覚しよう→規律・礼儀が身に付いた自立した社会人として認められている。
- ④ 人間的人格的に成長しよう →常に魅力ある人間になるための目標を語り合い、理想を求める。

【学びのシステム】 学びの特徴：「単位制」「学類」「Activities」

① 「単位制」による学び

生徒の主体的な学習を推進する学びがある。

科目選択の幅広い自由度が多様な知的好奇心に応える。

生徒一人ひとりの進路志望に応じた最適な学習プランを提供する。

② 「学類」による学び

知的好奇心や探究心、学問的興味を引き出す学びがある。

学類コア科目等が専門性を深化させる。

学類研修など、学類独自の活動等が将来の目的意識を向上させる。

③ 「Activities」による学び

生徒主体の学校行事、各種活動（部活動・生徒会・HR）がたくましい学びを育成する。

海外での体験学習、高大連携学習、社会人講座が学びの広がりとなる。

地域とつながる活動が信頼と優しさの学びとなる。

【セーフティネット】 心の相談（ピアサポート・個別支援など）、学習支援（個別指導・土曜活用など）

6 平成 29 年度の重点的取組

- (1) 「ステージは『世界』だ！」の深化・充実を図り、他校との交流を通じて SGH の成果を発信し、指定終了後の体制を構築する。
- (2) 「GLOBAL」で培ったアクティブラーニングを全教科で応用し、生徒の主体的な学びを促す授業研究を進める。
- (3) 様々な教育活動を通じて、生徒の批判的思考力を養い、社会とのつながりを意識させる。

7 平成 29 年度の取組の柱

- (1) SGH の 3 本柱である「課題研究・学類コア科目・海外体験」のそれぞれの充実と、相互の有機的な結合を図る。
- (2) 効果的な広報活動を推進し、志願者・城東の理解者を増やす。
- (3) 授業公開や研修会を通じて授業改善を進めるとともに、指導と評価の一体化を図る。
- (4) 「城東の自由」を理解し、問題意識を持った主権者を育てるべく、生徒会活動や委員会活動等を活性化させる。
- (5) 多様な大学や進路の研究を深め、高大接続改革に対応した指導・改善を進める。
- (6) 実践的な防災体制の強化および、校内美化を組織的に推進する。
- (7) 探究的な学習を支える図書館や図書館活動の充実を図り、生徒の読書活動を推進する。
- (8) 教育相談や外部機関との連携を通じて、生徒の悩みに組織的に対応するとともに、ピアサポート活動の充実を図る。
- (9) 行事の精選を検討し、時間外勤務を減少させる。